

産官学連携による社会の課題解決型アクティブ・
ラーニングに関する研究
Research on social problem solving active
learning through collaboration among industry,
government and academia

小口広太（人間社会学部准教授）

朝比奈剛（人間社会学部教授）

小寺徹（一般社団法人 CSV 開発機構専務理事）

勅使河原隆行（人間社会学部教授）

目 次

第 1 章 はじめに（小口）	5
1 - 1 研究の背景と目的	
1 - 2 研究プロジェクトの経過	
第 2 章 社会課題を解決する大学の役割とアクティブ・ラーニング：人間社会学部の特徴を踏まえて（小口）	11
2 - 1 AL とは何か	
2 - 2 地域連携型教育の広がり	
2 - 2 - 1 地域と連携する大学	
2 - 2 - 2 全国に広がる地域系学部の設置	
2 - 2 - 3 大学開放と地域連携型教育	
2 - 3 地域再生と大学への期待	
2 - 4 大学と連携する地域づくりの展開：岐阜県中津川市「域学連携事業」	
2 - 4 - 1 地域連携の展開過程	
2 - 4 - 2 地域政策としての域学連携事業	
2 - 4 - 3 地域連携活動の現状と特徴	

2-5 人間社会学部が取り組む AL の特徴

第3章 人間社会学部のアクティブ・ラーニングの変遷

(朝比奈、勅使河原) 29

3-1 新学部構想と旧カリキュラム (朝比奈)

3-1-1 実践的な AL への注目

3-1-2 人間社会学部の新設

3-2 現行カリキュラム (勅使河原)

第4章 人間社会学部のアクティブ・ラーニングの実例①：正課科目

(朝比奈、小口、勅使河原) 37

4-1 1年次の正課科目としての実践的な AL (朝比奈)

4-1-1 『るるぶ』制作

4-1-2 『ソーシャる』制作

4-1-3 小括～新学部構想時の懸念・課題は？

4-2 2年次以降の正課科目の AL：講義科目 (小口)

4-2-1 プロジェクト演習

4-2-2 まちおこし実践

4-2-3 現場からの発想

4-2-4 小括

4-3 ゼミでの AL (勅使河原)

4-3-1 勅使河原ゼミの概要

4-3-2 勅使河原ゼミの研究テーマについて

4-3-3 勅使河原ゼミの AL 実践

4-3-4 小括

第5章 人間社会学部のアクティブ・ラーニングの実例②：正課外

(小口、朝比奈、勅使河原) 61

5-1 正課外 AL と事例の位置付け (小口)

5-2 弘前ウェディング (朝比奈)

5-2-1 弘前ウェディングまで

5-2-2 弘前ウェディング

- 5-3 さんむ地域活性化プロジェクト（勅使河原）
 - 5-3-1 プロジェクトの概要
 - 5-3-2 さんむ田んぼアートプロジェクト
 - 5-3-3 小括
- 5-4 いちかわごちそうマルシェ（小口）
 - 5-4-1 開催経緯
 - 5-4-2 運営体制
 - 5-4-3 現状と意義
 - 5-4-4 学生チームの役割と活躍
 - 5-4-5 学部内連携への展開
 - 5-4-6 小括

第6章 人間社会学部のアクティブ・ラーニングの教訓・課題・展望

（朝比奈、勅使河原、小口、小寺）…………… 93

- 6-1 産官学連携における媒介の役割（朝比奈、小寺）
 - 6-1-1 産官学連携のAL（朝比奈）
 - 6-1-2 産官学連携のキーとしてのCSV（小寺）
 - 6-1-3 大学から見たCSVの役割（朝比奈）
 - 6-1-4 CSV開発機構から見た産官学連携（小寺）
- 6-2 教育効果、効果の測定や評価（学内）（勅使河原）
 - 6-2-1 PROGによるコンピテンシー測定
 - 6-2-2 社会人基礎力による教育効果測定
- 6-3 持続・拡張・改善のための課題（小口）
 - 6-3-1 活動のマネジメント
 - 6-3-2 学びのプロセスとその体系化
 - 6-3-3 ALの自立・自走化
 - 6-3-4 正課科目と正課外ALの相乗効果